



大会史上最多のランナーが疾走

第21回旭市飯岡しおさいマラソン大会

県内外からランナーが集う飯岡しおさいマラソン大会が2月7日、いいおかユートピアセンターをスタート・ゴールとするコースで開かれ、5部門24種目に過去最高となる2,674人が出場し、海岸線を駆け抜けました。今大会最高齢78歳のランナーをはじめ参加者は、沿道からの大きな声援を受けながら日ごろ鍛えた自慢の脚を披露し、次々とゴール。走り終えた後は、旭市の特産品などが当たるお楽しみ抽選会でイチゴを当て、「帰ったら早速いただきます」と笑顔を見せる姿や、「体も温まるし、おいしいです」とお汁粉や豚汁を口にする姿がありました。



- ① 仲良く手をつなぎ優勝のゴール（親子の部） ② 水分を補給したら、もう一走り ③ 大きな声援がランナーを後押し ④ ハーフ女子の部3連覇の宮崎さん（左）と優勝を喜ぶ教え子たち ⑤ 特産品が人気の抽選会

種目別10位以内（市内在住者）

※敬称略

種目	順位	氏名	タイム
2 km	5	伊藤正治・浩志(野中)	8' 23
	7	加藤修・聖也(二)	8' 31
	9	飯田毅・悠斗(清滝)	8' 41
	10	高野真一・遼輔(三川)	8' 50
3 km	7	横山直矢(ハ)	11' 10
	2	大木亜美(井戸野)	11' 55
	7	石田陽菜(三川)	12' 15
	9	大木奈美(井戸野)	12' 32
5 km	3	岩崎良雄(入野)	18' 30
	7	飯嶋敏夫(鎌数)	21' 58
	3	長島久瑠美(井戸野)	18' 24
	6	山崎菜未(鍋木)	18' 58
	8	増田彩(鍋木)	19' 25
	10	加藤瑠菜(二)	19' 38

種目	順位	氏名	タイム
5 km	39歳以下	6 江波戸智恵(江ヶ崎)	24' 41
	40歳以上	5 加瀬厚子(仁玉)	24' 19
10 km	男子 40-49歳	5 伊東重和(二)	37' 21
	女子 39歳以下	5 菱木歩美(鎌数)	44' 16
ハーフ	男子 29歳以下	8 浪川裕介(後草)	1° 21' 25
		9 山崎達也(鍋木)	1° 21' 27
		10 清野祥啓(中谷里)	1° 21' 42
	30-39歳	5 石毛猛(倉橋)	1° 20' 11
		8 早川勝敏(ハ)	1° 23' 52
		9 島伸嘉(イ)	1° 24' 34
	女子 39歳以下	1 宮崎めぐみ(後草)	1° 21' 42
			※3年連続
		10 鈴木なえ子(口)	1° 43' 35
	40歳以上	8 神田知恵子(ハ)	1° 41' 00

立ノ前観世音で12年ぶりに本尊公開



▲貴重な像を一目見ようと集まった大勢の人たち

新川の観音様と親しまれる大坊幸蔵寺別院・新川立ノ前観世音で2月14日、本尊「如意輪観世音菩薩」の御開扉が行われ、めったに目にすることのできない本尊を一目見ようと、大勢の人でにぎわいました。本尊は、多くの人々の平安と女性の安産祈願のためにと320年以上前の貞享年間に安置されたもので、目にできるのは12年に一度の寅年だけです。当日は平安を祈る大護摩供養が行われたほか、100人を超す子どもがきらびやかな衣装に身を包んだ稚児行列も行われ、御開扉に彩りを添えていました。

社会福祉施設を災害時の避難所に

災害時における福祉避難所設置協定締結

市では、地震や台風などの災害時に、高齢者や障害者など避難生活に特別な配慮が必要な人たちが、支障なく避難生活を送れるようにと2月12日、市内の五つの社会福祉施設と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結びました。今回の締結により、やすらぎ園、恵天堂、東風荘、白寿園、聖マリア園などのほか、市が管理する東総園など合わせて六つの施設が福祉避難所として指定されることになりました。締結式では市長と各施設の代表が握手を交わしながら、互いに協力し合うことを約束しました。



▲各施設の代表者と市長

寒さに負けず久しぶりの再会を楽しむ

友好交流市村 沖縄県中城村



▲滝郷小体育館での「ふれあい交流」。フルーツバスケット(いす取りゲーム)で中城村の子どもたちも寒さに負けず元気に動き回る

市と友好交流市村を結ぶ沖縄県中城村の小学生12人が2月17日、18日の二日間、旭を訪問しました。初日は、宿泊先の食彩の宿いおかで歓迎交流会が行われ、昨年沖縄を訪問した鶴巻小、嚶鳴小、滝郷小の児童20人らと、町の紹介や郷土芸能を発表するなどして交流を深めました。また翌日には滝郷小学校を訪れ、全校児童の歓迎を受けた後、5年生19人とゲームを楽しんだり、一緒に給食を食べながら互いの町の食べ物や言葉の違いなどを話したりして交流を深めていました。中城村の子どもたちは、「久しぶりに夏に会った友達と遊ぶことができて良かった」「初めは緊張したけど、すぐにみんなと仲良くなれて楽しかった」と笑顔で話していました。

地域の安心のため新車両を配備

消防自動車引渡式

老朽化した消防自動車を更新するため2月13日、消防本部前で消防自動車の引き渡し式が行われ、旭地域の三つの消防団に新しい消防自動車が配備されました。

式に出席した来賓はあいさつで「日ごろからの地域住民の安全安心のため、団員の皆さんのご尽力に感謝しています。新しい車両の導入により、今後ますます地域のためがんばってくださいようお願いします」と激励の言葉を述べていました。



▲旭方面隊第3分団第2部1班に配備された水槽付小型動力付積載車(写真右)と旭方面隊第2分団第2部と第3部に配備された小型動力ポンプ付積載車(写真中・左)